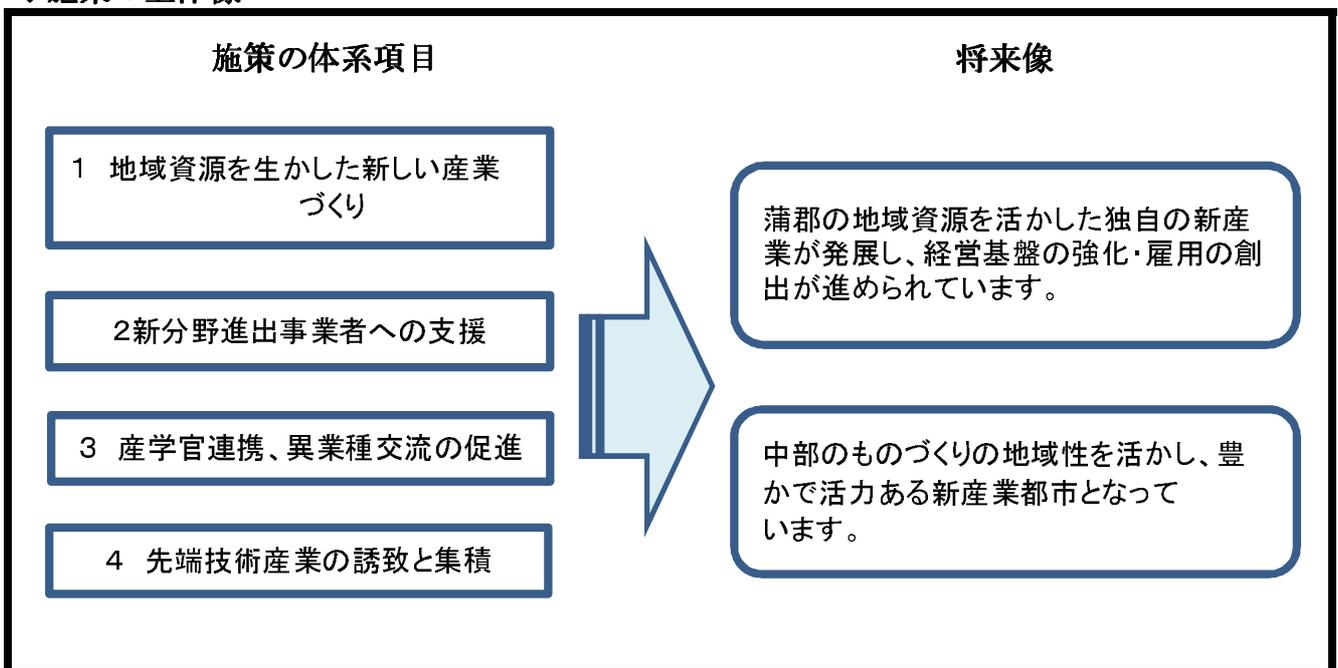


施策評価シート (平成30年度評価実施)	担当 部課名	企画部 企画政策課	関連 部課名	産業環境部 農林水産課
-------------------------	-----------	--------------	-----------	----------------

◆第四次蒲郡市総合計画(2011～2020)

施策名	新産業
基本目標	賑わいと元気あふれるまちづくり【産業】
施策の説明	蒲郡独自の新産業の創出にむけて、繊維製品の高付加価値化、農産・水産品を活かした地域ブランドの推進、企業の研究開発支援による新商品や技術開発の促進、産学官の共同研究、農商工の連携促進、先端技術を有する先進企業の積極的な誘致などの取組を推進します。

◆施策の全体像



◆主要事業に係る具体化した取組み実績(括弧内は単位)

事業名		地域特産品のブランド化																					
1	苺の出荷額(千円)	水産物取扱数量(t)	—																				
	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績</th></tr> <tr><td>H27</td><td>651,397</td></tr> <tr><td>H28</td><td>653,367</td></tr> <tr><td>H29</td><td>740,350</td></tr> <tr><td>H30年度目標</td><td>688,000</td></tr> </table>	年度	実績	H27	651,397	H28	653,367	H29	740,350	H30年度目標	688,000	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績</th></tr> <tr><td>H27</td><td>2,458</td></tr> <tr><td>H28</td><td>2,507</td></tr> <tr><td>H29</td><td>2,689</td></tr> <tr><td>H30年度目標</td><td>2,823</td></tr> </table>	年度	実績	H27	2,458	H28	2,507	H29	2,689	H30年度目標	2,823	—
	年度	実績																					
H27	651,397																						
H28	653,367																						
H29	740,350																						
H30年度目標	688,000																						
年度	実績																						
H27	2,458																						
H28	2,507																						
H29	2,689																						
H30年度目標	2,823																						
<b>担当者評価</b>																							
<p>苺はブランド化を推進するためにサンベリー蒲郡として販売促進に取り組んでいる。平成29年度は単価が高く出荷額に大きく影響しているが、産地としての計画性や取り組みも評価できる。水産物の取扱数量については、自然環境のなかでの産業であることや、市場価格が他産地を含めた漁獲量によって上下することから、指標を取扱数量としている。様々な取り組みをしているなか、4～5%の増加で推移していることは高く評価できる。</p>																							
事業名		産学官連携事業																					
2	産学官ネットワーク会議会員数(社)	産学官講演会参加者数(人)	—																				
	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績</th></tr> <tr><td>H27</td><td>24</td></tr> <tr><td>H28</td><td>24</td></tr> <tr><td>H29</td><td>28</td></tr> <tr><td>H30年度目標</td><td>28</td></tr> </table>	年度	実績	H27	24	H28	24	H29	28	H30年度目標	28	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績</th></tr> <tr><td>H27</td><td>22</td></tr> <tr><td>H28</td><td>100</td></tr> <tr><td>H29</td><td>47</td></tr> <tr><td>H30年度目標</td><td>100</td></tr> </table>	年度	実績	H27	22	H28	100	H29	47	H30年度目標	100	—
	年度	実績																					
H27	24																						
H28	24																						
H29	28																						
H30年度目標	28																						
年度	実績																						
H27	22																						
H28	100																						
H29	47																						
H30年度目標	100																						
<b>担当者評価</b>																							
<p>平成29年度は、がまごおり産学官ネットワーク会議にて、新たな産学官連携事業である超小型衛星の製作に係るプロジェクトを始動させ、新たに4社が会員として加わった。衛星の愛称募集や衛星の製作プロジェクトの活動について積極的にリリースし、テレビ局や新聞、東三河広域連合広報誌に取り上げていただいたことで、他業界への展開までは至っていないものの、市内外へ広くPRを行うことはできた。引き続き、関係者との意見交換や講演会を通して、新たな産学官連携事業の促進を図る必要がある。</p>																							

事業名		ヘルスケア産業振興事業											
誘致した企業数(事業所)		—	—										
3	<table border="1"> <caption>誘致した企業数(事業所)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>企業数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H30年度目標</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	年度	企業数	H27	0	H28	0	H29	0	H30年度目標	1		
	年度	企業数											
H27	0												
H28	0												
H29	0												
H30年度目標	1												
<b>担当者評価</b>													
<p>ヘルスケア産業の振興のため、企業誘致に向けた環境整備に取り組んでいるところであるが、平行して、ヘルスケア関連企業等との意見交換を通じて、市として立地を希望する業種に絞った優遇措置について、引き続き検討を行ってまいりたい。</p>													

◆施策の現状分析(指標の推移から見た現状分析)

指標の推移		指標の説明(設定理由)										
1	<p>産学官連携プロジェクト(件数)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>件数</th></tr> <tr><td>H27</td><td>1</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1</td></tr> <tr><td>H33年度目標</td><td>1</td></tr> </table>	年度	件数	H27	1	H28	1	H29	1	H33年度目標	1	<p>産学官事業について、平成26年度から28年度にかけて陸上養殖アワビの研究に取り組んできたが、最終的に事業者への引継ぎまでつながらないまでも、飼育の取り組みをさまざまな機関と連携して行う中で生徒たちが著しく成長していることから、三谷水産高校における次世代人材育成事業としてかたちを替えて実施することとなった。</p> <p>平成29年度には愛知工科大学において超小型衛星を研究されている先生と地元中小企業が力を合わせて衛星を製作する事業を開始した。</p> <p>平成30年度以降も、産学官の力を合わせる事業について、常に情報交換を行い、新たな事業を継続して生み出していきたい。</p>
	年度	件数										
H27	1											
H28	1											
H29	1											
H33年度目標	1											
指標の分析	産学官における情報交換を継続して行い、各業界との連携の中で解決を図る取り組みを促す。連携の種を探索し、発見し、水を撒き続けることにより、常に何かしらのプロジェクトが実施されている状況を継続させる。											
指標の推移		指標の説明(設定理由)										
2												
	指標の分析											

◆市民等からの参考意見等

市民サービス向上に向けた意見等
<p>がまごおり産学官ネットワーク会議の講演会でのアンケートでは、事業者からは人材育成、人材確保が会社や業界の課題であるという意見が比較的多くみられた。また、本会議へは地元の企業・店舗に活動をアピールして存在を広めてほしいという意見があった。</p>

◆今後の方針

No.	課題		今後の取組み
	件名	内容	
1	地域特産品のブランド化	<p>苺は生産量の増と高品質化を更に進めることが重要である。また、水産物については安定した漁獲が継続されることが必要である。</p>	<p>生産者の取組みを合理的に進められるよう、PR活動や資源確保に繋がる事業を実施していく。</p>
2	産学官連携プロジェクト	<p>かかわる事業者は特定の分野の事業者のみであり、産学官事業としての広がりが限られる。</p>	<p>テレビ局等メディアと連携をとったPRを行うことにより、市内外にも取組みが伝わり、特定の分野以外の業界の協力も受けるなど、事業を広く展開できる可能性が広がる。</p>
3			
4			

◆施策評価

構成事業の進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
施策の進め方	B: 一部見直しが必要である。
課長評価	<p>水産物については、29年度に行った“うま味の見える化の実証”の結果をブランド化にもうまく活用していければと考える。</p> <p>平成29年度から取り組んでいる、愛知工科大学において超小型衛星を研究されている先生と地元中小企業が力を合わせて衛星を製作する事業は、超小型衛星が無事に打ち上げられることがひとつの大きな成果であると考えるので、ぜひとも実現することを期待する。</p> <p>産学官連携による新産業創出については、行政主導では限界があり産業界が主導的役割を担うべきである。今後も蒲郡商工会議所などと連携を図りながら産業界の理解を深め、愛知工科大学ほか関係機関と協力しながら新たな展開を目指していく。</p>

施策の進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
部長評価	<p>産学官連携事業においては、愛知工科大学と民間企業7社により、超小型人工衛星の製作に取り組み、本年度打ち上げる予定となっている。企業は新たに航空宇宙産業への進出を模索している。また、新たな産学官連携事業についても、蒲郡商工会議所や愛知工科大学等と連携して進めていく必要がある。</p>

事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く 事業費(千円)	人件費(参考) (千円)	人工	評価 (担当者)	事業の 種別	新規 事業	達成 状況	市長マ フェスト	実施 計画
2-5	企画政策課	5	新産業創出事業	582	8,555	1.45	B	カ	オ	B	2	○
2-5	観光商工課	29	癒しとアンチエイジング推 進事業	1,000	795	0.11	C	オ	オ	C	2	○